



### 市街化調整区域の人口減少と道路整備促進について

松崎 誠

問 旭・三輪野江地区の人口が減少しています。今までの人口推移と今後の推移は。減少要因と今後の政策と具体的施策は。

答 政策室長 旭地区は、平成14年の5853人をピークに減少、平成29年現在5197人で、平成47年には約4400人と推計。三輪野江地区は、平成11年の6407人をピークに減少。平成29年現在5717人で、平成47年には約5300人と推計。調整区域は開発を抑制し、外部からの人口流入が起これにくく、人口の減少が考えられる。



整備要望のある道路

問 調整区域内の道路整備促進について、①道路改良が必要な箇所数は。②舗装補修が必要な箇所数は。③採納済みで未舗装箇所数と面積は。④道路補修が必要と把握している路線数と延長は。⑤都市計画税導入前と

導入後の財政的予算措置の推移は。⑥対応と課題は。

答 都市整備部長 道路改良、舗装修理、採納済未舗装等は、市民要望が多く寄せられる中、対応しきれっていない状況ではあるが順次対応していきたい。

### 新生児聴覚検査の費用助成を

雪田 きよみ

問 厚労省は「新生児聴覚検査に係る費用について公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減を図ること」として市町村に対し財政措置を行っている。吉川市でも公費負担するべきでは。

答 健康長寿部長 概ね9割の子が検査を受けている。行政的には、概ね検査が浸透している状況と考えている。

◆国民健康保険、滞納処分の現状は  
問 今年4月1日現在、国保加入世帯の滞納割合は19.3%。普通口座を差し押さえる場合には暮らしていける生活費を残しているか。  
答 総務部長 慎重に調査をして

いる。納めていない方との接点を作ることに最大限の努力をしている。

### 2019年度開始の「農家収入保険制度」の周知徹底を

小野 潔

問 農業政策について①自然災害や市場価格下落による収入の減少に対応した、2019年度開始の「農家収入保険」の周知徹底を。②農業・福祉連携による障がい者の就労支援の推進を。

答 市長 ②農福連携を考えている農家さんもあるので新しいチャレンジとして捉えて行く。  
答 市民生活部長 ①機会を捉えて丁寧な対応をして行く。

### ◆郷土資料館の整備・充実を

問 ①移設を含めた施設整備と受付係の方への研修と展示品等の基本的応答資料の作成を②市史編さん刊行物終了や教育大綱の「郷土を愛し」の視点から子ども達への郷土資料館の活用を③バーチャル資料館や動画を活用したホームページの充実を図っては。

答 市長 移設も含め整備を検討する。また栄小、関小だけでなく全ての小学校で教育に資する資料館の活用を検討する。  
答 教育部長 受付係への研修や資料作成をする。またホームページ上での動画等も有効手段であるので研究する。

### 小学校のトイレの洋式化を急げ

佐藤 清治

問 2016年度の資料では小学校64%、中学校44%、校舎全体で59%になっている。洋式化の計画は。

答 教育部長 トイレの洋式化についてその必要性は十分認識している。仮称第四中学校の建設や既存施設の維持管理のための修繕も必要であり、計画的な施設整備に努める。



### ◆国保の広域化について

問 来年の4月から国保の運営主体が埼玉県になる。県から第3回の標準税額の試算が示されたが11万1625円で、第2回の試算に比べ100.97%となつた。このままでは国保税の値上げにつながるのではないか。

答 健康長寿部長 国保税の税制については今のところ全く考えていない。今後11月に仮算定が示されて後に具体的に検討していく。  
問 国保への法定外繰り入れを赤字と見直していくと値上げに知らせられないか。

つながるのでは。  
答 健康長寿部長 前段として収納の向上などはあった上で進めていければと考えている。

### 部活動における教育環境整備について

濱田 美弥

問 南中吹奏楽部が全国吹奏楽コンクールA部門に出場し、吉川市で初の県大会出場銀賞を受賞した。しかし、昭和五十年頃に揃えた大型楽器が寿命を迎えている。市は学習環境整備の一環として更新費用を負担していくべきだと考えるがいかがか。

答 教育部長 生徒の頑張りや楽器の修理の必然性は認識しているが、一度に費用を負担することは予算的に難しい。  
問 部活動は中学生にとって生活の大部分を占めている。吹奏楽部に限らず、大切な教育活動にしっかり予算付けをしていたいただきたい。募金活動などを子どもたちや保護者が行う場合には市としてバックアップしていただきたいが見解を伺う。

答 教育部長 そのような際には広報等の支援をしていきたい。  
◆仮称第四中学校開校時の配慮について  
問 南中と分離する際、部活動の有無等を前もって生徒たちに知らせられないか。

答 教育長 良いスタートが切れるよう配慮していく。

### 吉川の平和事業―戦後72年の今戦争体験を子どもたちに伝えて

小林 昭子

問 家族や身近な人から戦争体験を聴き、子どもの感性で作文に書いてみる。伝えておきたい言葉が子どもたちによって残す事が出来るではないか。  
答 教育長 祖父母の代でも戦争体験を聴くのは難しい事ですが、意義がある事なので、どの様にやれるか研究していきたい。

### ◆調整地域の水路整備を

問 家屋に隣接する水路は政策的配慮が必要。要望数は。

答 市民生活部長 要望が出ている水路は150ヶ所。その内家屋隣接の水路は50ヶ所、延長距離は1kmとなる。緊急性・有効性を考え実施していきたい。  
答 市長 今後の吉川市に大事な地域。しっかり考えていきたい。

### ◆市の花火大会を

問 高齢化等で地域独自の祭りが出来なくなっている。誰もが楽しめる市の花火大会を。

答 市民生活部長 近隣では、観光協会や実行委員組織で行っている所が多く、実施しようという団体があれば市としても支援していきたい。

### 答えて市長！一般質問

次ページへ続く